

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却方法

取得価額が10万円以上のものについて、見積耐用年数に基づいて、定額法で償却している。
なお、取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は7に記載のとおりである。

(3) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。
なお、当該事業年度末日における未経過リース料は825,120円である。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
	定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
	国債	99,955,256	13,886	0	99,969,142
	国債	99,751,048	19,525	0	99,770,573
	国債	150,910,787	0	70,060	150,840,727
	三菱東京UFJ銀行債	50,000,000	0	0	50,000,000
	東京電力パワーグリッド社債	50,000,000	0	0	50,000,000
	電源開発社債	100,000,000	0	0	100,000,000
	普通預金(秋田銀行)	1,202,201	0	0	1,202,201
	小計	581,819,292	33,411	70,060	581,782,643
特定資産					
	暴力団排除活動推進資産	5,000,000	0	0	5,000,000
	運用資金積立資産	740,799	0	0	740,799
	被害者支援積立資産	2,564,711	0	0	2,564,711
	小計	8,305,510	0	0	8,305,510
	合計	590,124,802	33,411	70,060	590,088,153

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科	目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産					
	定期預金	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
	国債	99,969,142	(99,969,142)	(0)	(0)
	国債	99,770,573	(99,770,573)	(0)	(0)
	国債	150,840,727	(150,840,727)	(0)	(0)
	三菱東京UFJ銀行債	50,000,000	(50,000,000)	(0)	(0)
	東京電力パワーグリッド社債	50,000,000	(50,000,000)	(0)	(0)
	電源開発社債	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
	普通預金(秋田銀行)	1,202,201	(1,202,201)	(0)	(0)
	小計	581,782,643	(581,782,643)	(0)	(0)
特定資産					
	暴力団排除活動推進資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
	運用資金積立資産	740,799	(0)	(740,799)	(0)
	被害者支援積立資産	2,564,711	(0)	(2,564,711)	(0)
	小計	8,305,510	(0)	(8,305,510)	(0)
	合計	590,088,153	(581,782,643)	(8,305,510)	(0)

6. 担保に供している資産
該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科	目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	車両運搬具	1,980,000	1,979,999	1
	什器備品1	156,870	156,869	1
	什器備品2	236,412	236,411	1
	合計	2,373,282	2,373,279	3

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
 (単位:円)

科	目	帳簿価額	時価	評価損益
第62回	利付国債	99,969,142	102,080,000	2,110,858
第9回	利付国債	99,770,573	114,200,200	14,429,627
第144回	利付国債	150,840,727	173,398,350	22,557,623
第35回	三菱東京UFJ銀行債	50,000,000	50,552,150	552,150
第11回	東京電力パワーグリッド債	50,000,000	50,695,000	695,000
第60回	電源開発債	100,000,000	101,790,000	1,790,000
	合計	550,580,442	592,715,700	42,135,258

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 該当なし
12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
 該当なし
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内	容	金額
経常収益への振替額		
基本財産受取利息		6,412,022
	合計	6,412,022

14. 関連当事者との取引の内容
 該当なし
15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
 該当なし
16. 重要な後発事象
 該当なし
17. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに
 正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
- (1) 金融商品に対する取組方針
 基本財産の運用に当たっては、元本償還の確実性が高く、かつ適正な運用益が安定して
 得られる方法で運用するものとする。
- (2) 金融商品の内容及びそのリスク
 保有している公社債等の有価証券について、デリバティブ取引はしていない。